

2022年11月26日

水生昆虫観察会のお知らせ

クラウドファンディングご支援の皆様

『イリオモテヤマネコも狩りに立ち寄れる水生昆虫「保全池」プロジェクト』を進めていますが、プロジェクトの活動として児童・生徒を対象とした水生昆虫（水生生物）の観察会を開催することにしています。この一回め開催のお知らせです。

児童・生徒に西表島に生息する（亜熱帯に生息する）水生昆虫にじかに接して、親しんでもらうこと、理解を深めてもらうことを目的とします。安全策を講じ、飛ぶトンボを、池の堤から水中の昆虫を採集してもらい、講師の先生に種の特徴（同定の方法）、一生のあり方（生活史）等を説明して頂きます。西表島の水生昆虫の生息状況についても説明して頂きます。

日時：2023年4月1日（土）で午前10時から12時まで。

場所：西表島祖納の子午線ふれあい館近くの造成池で現地集合。小雨でも決行しますが、大雨の時は屋内（祖納公民館を予定）での説明会となります。

観察対象：トンボ、ゲンゴロウ等の水生昆虫で幼虫を含みます。ミカワタヌキモ等の水生植物も対象とします（観察が期待される昆虫を文末に示しています）。稀少種は観察のみとして、観察後は池に戻すことにします。この池で撮影された動物を下記サイトで紹介していますが、参考にしてください（ヤマネコ、カンムリワシ等の映像です）。

<http://iriomote.image.coocan.jp/Revised2022/CFReportTopNov2022/CFReportTopNov2022.html>

対象児童・生徒：小学校5、6年生と中学生。

対象人数；およそ20名（同伴保護者の人数を含みません）。

講師：博物館の学芸員と元教員等で保全活動をされている方々（現在、三名に講師をして頂く予定ですが、人数は増えるかもしれません）。

ご支援をして頂いた方々のご家族、お知り合いの方の参加を優先することにして、お知らせをしている次第です。参加希望者はメールで申し込んでください（アドレス：nqf31226@nifty.com）。問い合わせも同じメールアドレスでお願いいたします。締め切りを12月23日（金）としますが、希望者の多い場合は先着順となります。参加者には観察会の詳細を3月中旬までにお知らせいたします。なお、観察会は今後も定期的開催いたします。

申し訳ありませんが主催者である西表在来植物の植栽で地域振興を進める会（以下、植栽の会）は交通のアクセス、宿泊の便宜は図りませんので、参加者で手配をしてください。祖納と干立集落以外にお泊りの方には、乗り合いバスかレンタカーの移動が便利です。集合場所は祖納と干立集落

から徒歩 10 分程です。

観察会の様子は、活動報告として紹介しますので、ご了承をお願いいたします。肖像権については配慮をいたします。

観察会とは直接関係ありませんが、クラウドファンディングで目的にしていたイリオモテヤマネコ、水生昆虫の保全の面で、ある程度の成果を示せたと考えています。今後も活動を継続し、さらに良い成果を目指します。

参加の児童・生徒と保護者の方にマングローブ植物の観察会、植栽の会が進める活動地の見学、ヤマネコ足跡のペーパーウェイトづくり（クラウドファンディングのアクティビティで、各々10名ほどの参加者を予定）を3月31日から4月3日までの間で行います（4月1日と2日は午後のみ）。こちらも希望される場合、やはりメールでご連絡ください。できるだけご希望に沿うようにいたします。移動時間を含めて各々2時間となります。

西表在来植物の植栽で地域振興を進める会（代表：高相）

観察が期待される昆虫（トンボは成虫）：

クロイワカワトンボ、リュウキュウベニイトトンボ、アオモンイトトンボ、リュウキュウギンヤンマ、コフキショウジョウトンボ、コシブトトンボ、アオビタイトンボ、アカスジベッコウトンボ、ヒメトンボ、オキナワチョウトンボ、ハネビロトンボ、コナカハグロトンボ

コガタガムシ、ヒメガムシ、ウスイロシマゲンゴロウ、トビイロゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウ